

PRAEVIDENTIA DAILY (8月28日)

昨日までの世界：ようやくドル反落

昨日は、ドルが対主要通貨、対新興国通貨で幅広く反落する展開となった。米10年債利回りの低下とは整合的であったものの、米利上げ開始早期化期待で最近注目度が高まっている米2年債利回りの上昇や米株価の軟調とも整合的ではなかった。中ではコモディティ通貨の上昇が顕著で、カナダドル、NZドル、豪ドル、南アランドなどの上昇が目立った。

個別材料はあまりなかったが、ユーロについては先週のジャクソンホール・シンポジウムでの Draghi・ECB 総裁発言を受けて漠然とした追加緩和策への期待が高まっていた中、「明日発表のユーロ圏 HICP 統計でデフレにかなり近づいている兆候が示されない限り、来週の ECB 政策理事会で新たな政策が打ち出される公算は小さい」との ECB の事情に詳しい筋による発言報道を受けて買戻しが入った。

この間、ドル/円はドルの全般的な軟調に沿うかたちで、104円台前半から103円台後半へ軟化した。

主要通貨ペアの前営業日比変化率と、連動性が高い金利・株価・商品市況の変化

	変化率	米日2年金利差	米2年金利	日2年金利	米日10年金利差	米10年金利	日10年金利	米株価	日株価	原油WTI	原油Brent
ドル/円	-0.2	+0.02	+0.02	-0.00	-0.03	-0.04	-0.01	+0.0	+0.1	+0.0	+0.2
	変化率	独米2年金利差	独2年金利	米2年金利	独米10年金利差	独10年金利	米10年金利	欧株価	米株価	原油Brent	西伊の対独株価
ユーロ/ドル	+0.2	-0.02	+0.00	+0.02	+0.01	-0.03	-0.04	+0.1	+0.0	+0.2	+0.00
	変化率	英米2年金利差	英2年金利	米2年金利	英米10年金利差	英10年金利	米10年金利	英株価	米株価		
ポンド/ドル	+0.2	-0.05	-0.03	+0.02	-0.04	-0.08	-0.04	+0.1	+0.0		
	変化率	豪米2年金利差	豪2年金利	米2年金利	豪米10年金利差	豪10年金利	米10年金利	米株価	中国株価	CRB	
豪ドル/米ドル	+0.3	-0.04	-0.02	+0.02	+0.01	-0.02	-0.04	+0.0	+0.1	+0.0	
	変化率	NZ-米2年金利差	NZ2年金利	米2年金利	NZ-米10年金利差	NZ10年金利	米10年金利	米株価	中国株価	CRB	
NZドル/米ドル	+0.5	-0.02	+0.00	+0.02	+0.01	-0.03	-0.04	+0.0	+0.1	+0.0	
	変化率	米加2年金利差	米2年金利	加2年金利	米加10年金利差	米10年金利	加10年金利	米株価	原油WTI	CRB	
米ドル/加ドル	-0.8	+0.02	+0.02	-0.00	-0.00	-0.04	-0.04	+0.0	+0.0	+0.0	

(注) 為替相場、株価および商品価格は前営業日比変化率、金利は前営業日比変化幅(%ポイント)。

きょうの高慢な偏見：デフレに近づく兆候が示されユーロ安

きょうの注目通貨：USD/JPY ↓

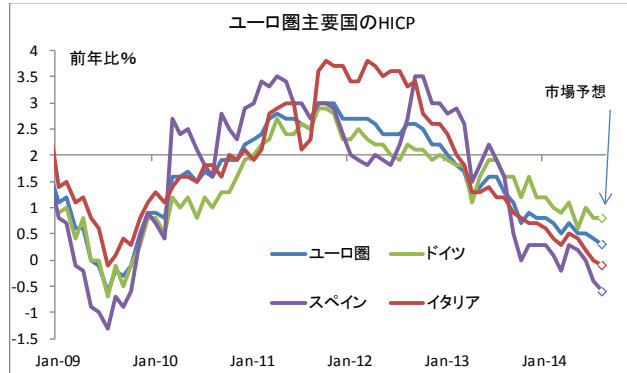
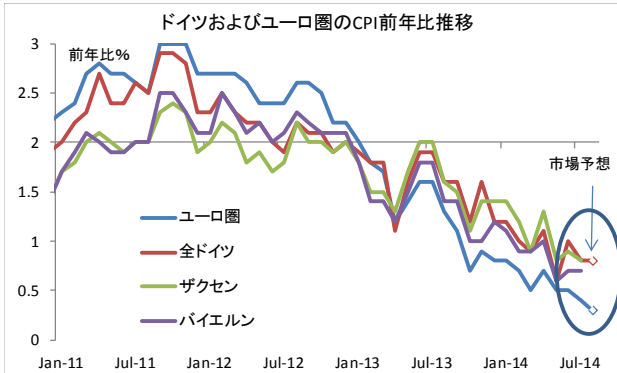
きょうの指標、イベント	時刻	前期	市場予想	備考
豪2Q民間設備投資サーベイ・前期比	10:30	-4.2%	-0.3%	
スペイン8月総合HICP前年比	16:00	-0.4%	-0.6%	
ドイツザクセン州CPI前年比	16:00	+0.8%		
ドイツ8月総合HICP前年比	21:00	+0.8%	+0.8%	
米2QGDP改定値・前期比年率	21:30	+4.0%	+3.9%	1Qは-2.1%
米新規失業保険申請件数	21:30	29.8万人	30.0万人	
カナダ2Q経常収支・カナダドル	21:30	-123.9億	-118.0億	
米7月中古住宅販売仮契約件数・前月比	23:00	-1.1%	+0.5%	

(出所) プレビデンティア・ストラテジー作成

本日はスペインとドイツのインフレ指標が注目だ。明日発表のユーロ圏分8月HICP速報値に先行して、スペイン分とドイツ分が発表される。ユーロ圏分が前年比+0.3%へ更に低下する予想となっている中、スペイン分やドイツ分が市場予想を下回ると、ユーロ圏分も更に下振れしゼロ%に近づくことになり、足許高まりつつあるECBによる量的緩和策導入期待を再び高めユーロ/ドルの年初来安値更新に繋がるだろう。逆に、市場予想を上回ると、ある意味これまでの一方向のユーロ下落でインフレ率続落を織り込んできた面があることから、

ユーロ反発がやや大きくなるリスクにも注意したい。

また米 2QGDP 改定値も注目される。市場予想を大きく上回る速報値が発表された 7 月 30 日にはドル/円の 103 円乗せや米 2 年債利回りの急上昇に繋がり、足許のドル高センチメントの土台を作った材料であった。但し今回は小幅下方修正（前期比年率+4.0%から+3.9%へ）の予想となっており、また個別予想をみると+3.7~+3.8%を予想している向きも結構多く、どちらかというとな振れリスクが大きいとみられる。この場合は早期利上げ期待の後退に繋がり、ドルの調整が大きくなるだろう。ドル/円は 103 円台半ばへのじり安となりそうだ。



**ディスクレイマー**

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、全てお客様ご自身でご判断下さいませようよろしくお願い申し上げます。

当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。

当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。当資料は購読者向けに送付されたものであり、購読者以外への転送を禁じます。

プレビデンティア・ストラテジー株式会社  
 金融商品取引業者（投資助言・代理業）関東財務局長（金商）第 2733 号  
 一般社団法人 日本投資顧問業協会 会員番号 012-02641